



ほけんだより 12月号

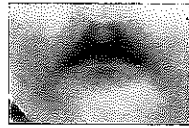
2020年度 NO. 9

2020.11.30 発行

せがわ保育園 保健室

今年もあと1ヶ月となりました。新型コロナウイルス感染症のニュースが毎日更新されており、今年の年末年始はおうちでゆっくり過ごされる方が多いかと思えます。大人にとっては何かと慌ただしく忙しい月ですが、子どもたちにとっては、クリスマスにお正月とお楽しみがいっぱいの月ですね。生活リズムが乱れないように、体調管理には十分気をつけてください。

お口ぽっか〜ん? 富士山唇?!



11月19日に囑託医の河村医師による歯科検診がありました。つくし組からひまわり組まで、ちょっとドキドキしたり泣いてしまう姿もありましたが、上手に大きな口を開けて診てもらっていました。検診の中で、河村先生より「口がぽかんと開いている子が多いな〜」「富士山唇の子も多いな」とご指摘がありました。富士山唇は、口周りの筋肉が未発達で普段から口呼吸であることを示します。生後間もない赤ちゃんは口周囲の筋肉が未発達で富士山唇ですが、離乳食が始まり笑ったり歯が生えたりすると、筋肉が発達して富士山唇は消失します。本来、唇は閉じていて、舌は口蓋(上あご)に付いているのが正しい位置です。歯と歯のかみ合わせ部分はふわっと当たるか当たらないかくらいの状態が理想です。大きくなって富士山唇なのは、口呼吸がクセになっている＝口周囲の筋肉が弱く、しまりのない口元になっているということです。口周囲の筋肉をきたえて、自然に鼻呼吸ができるようになるといいですね!

どうしたら いいの? ⇒ ☆あいうべ体操!…親子で毎日やりましょう!
 ☆昔ながらのおもちゃ『ふきもどし』
 ☆ふ〜ふ〜してすする
 ☆ふうせんをふくらます
 ☆ブクブクうがい
 ☆くちぶえ



口を閉じることで、感染症やアレルギーを防ぐことができるほか、常に歯が唾液で濡れていることで着色や汚れがつきにくくなり、むし歯の予防にもなります。



上手にお口をあ〜ん

待っている間はドキドキ

2,3歳児はハブラシで、4,5歳児はマウスピースでフッ素塗布

保育と保健ニュースより抜粋

発音が気になる子

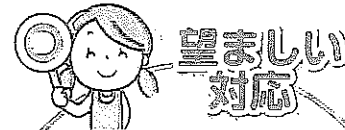
機能性構音障害
(多くがこちら)

器質性構音障害

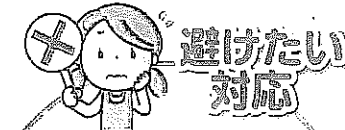
(口蓋裂や鼻咽腔閉鎖機能不全—医療的対応が必要)

発音の誤り

- ・カ行音がタ行音・ガ行音がダ行音になる (おかあさん→おたあさん)
- ・サ行音がタ行音・チャ行音・シャ行音になる (せんせい→てんてい・ちえんちえい・しえんしえい)
- ・ザ行音がダ行音・ジャ行音になる (ぞうさん→どうさん・じょうさん)
- ・ラ行音がダ行音になる (らいおん→だいおん)
- ・鼻から抜けるような発声
- ・のどをつめたような発声
- ・一つずつの音は正しく発音できるのに、会話になると音の置換が多い



- 望ましい対応**
- ① 食事の時にしっかりかむ
 - ② 発語器官(口唇・舌)を使う遊び (シャボン玉、ストロー吹き、風船、紙風船、ロジャんけん、うがい等)
 - ③ 音の聞き出し遊び



- 避けたい対応**
- ① 発音の注意をする
▶ 言い直しをさせられて自己肯定感が下がる。話すことが嫌いになる。
 - ② 言い直しをさせる
▶ 正しく発音できていない音を何度も言わせても、間違っただけの発音練習を繰り返していることに過ぎないので意味がない。

発音の誤りに関係なく、話の内容をしっかり聞いて話を広げ会話を楽しむ。おしゃべり好きな子にする。
 ▶ 発語器官をしっかり使うことで動きが器用になる。正しい発語獲得へ



- 子どもが話せる環境づくり**
- ① 年少でカ行音・ガ行音を全く発音できない場合
 - ② 5歳になってサ行音・ザ行音・ツの音が正しく発音できない場合
 - ③ 発音の誤りに気にして話すことを避けるようになった時

相談機関: 発達障害支援センター(こどもびの教室)、言語聴覚士(病院・療育施設)

【身体測定の予定】
 16日(水) つくし
 15日(火) れんげ
 8日(火) たんぼぼ1,2
 2日(水) すみれ1
 1日(火) すみれ2
 ※予定は変更する場合があります。